

肝臓移植の医療経済学評価に関する文献的考察

—わが国における肝臓移植の社会的容認に向けて—

石田 晃造*¹ ヨソウ ヨソウ*² イマイ ヒロヒサ^{2*} オガサワラカツヒコ^{3*} タマシロ ヒデヒコ*

肝臓移植 (LT) の医療経済学評価 (HEA) について、欧米諸国の文献を概説し、評価がほとんど行われていないわが国の今後の展望について考察を行った。

LTは高額な医療費がかかる医療技術であるが、健康アウトカムに優れた医療技術であると報告されている。このような医療技術の経済性と有効性の観点からの評価としてHEAがある。多くの医療技術に対する評価がすでに行われている欧米諸国では、LTは終末期肝臓疾患 (ESLD) 患者の唯一の治療法として確立されている。一方、わが国においてもLTは、ESLD患者の治療法として実施されているものの、HEAは行われていない。そのため、LTの社会的な容認が進んでいない一因となっていると考えられる。

そこで、MEDLINE および医中誌WEB版 Ver. 2 を用いて、欧米諸国、わが国のLTのHEAに関する文献検索を行った。その結果、MEDLINEでは完全なHEAが行われた原著論文数は6件であった。このうち、特定の肝臓疾患に対するLTのHTAを除いた4件の報告から、観察期間の延長によって、LTは費用効果・効用に優れた医療技術であることが推察された。医中誌によって得られたわが国の報告 (主に小児を対象) でも観察期間の延長により同様の結果が得られている。

今後、わが国においてもLTのHEAが行われ、社会的に容認される医療技術の1つとなることを期待する。

Key words : 医療経済学評価, 肝臓移植, 費用効果分析, 費用効用分析

* 北海道大学大学院医学研究科社会医学専攻
予防医学講座老年保健医学分野

^{2*} 宮崎大学医学部衛生公衆衛生学講座

^{3*} 北海道大学医学部保健学科
連絡先: 〒060-8638 北海道札幌市北区北15条
西7丁目
北海道大学大学院医学研究科社会医学専攻
予防医学講座老年保健医学分野 玉城英彦